

## 第二次新潟市立図書館ビジョン 令和3年度実績 評価シート(全館)

図書館の基礎的数値	中央図書館の実績			
	指標	令和元年度	令和2年度	令和3年度
1 資料購入費(単位:千円)	決算額	100,465	95,301	93,966
2 蔵書冊数(単位:冊)	図書のみ	1,864,916	1,873,262	1,881,453
3 個人貸出人数(単位:人)	図書、雑誌、AV、電子	1,206,111	955,010	1,058,352
4 個人貸出点数(単位:点)	図書、雑誌、AV、電子	4,204,403	3,485,739	3,725,127
5 個人登録者数(単位:人)	有効期間は4年	137,075	126,161	120,654
6 (うち新規登録者数)(単位:人)	上記の内数	14,503	10,190	12,911
7 団体の貸出冊数(単位:冊)	図書、雑誌	128,816	107,692	107,140
8 入館者数(単位:人)	図書館のみ	2,414,446	1,749,721	1,897,949

※資料購入費には、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した「学習支援のための図書購入等事業」は含みません。

※令和3年度より電子書籍の実績を含みます。

ア 市民の生涯学習や課題解決を支援します。	指標	実績	実績	目標	実績	目標	令和3年度 全館の取組結果	外部評価欄	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和3年度	令和4年度		段階評価	自由記述
<p>施策① 多様な利用に応じた図書館サービスの提供</p> <p>施策② 課題解決のためのレファレンスサービスの充実</p>	<p>予約件数</p> <p>レファレンス受付件数</p>	<p>773,314件</p> <p>96,766件</p>	<p>788,834件</p> <p>90,571件</p>	<p>790,000件</p> <p>95,000件</p>	<p>851,760件</p> <p>91,649件</p>	<p>900,000件</p> <p>93,000件</p>	<p>・新型コロナウイルスの影響のためか、事前に予約して来館するスタイルが定着したと思われます。また、予約件数には、令和4年3月16日に開始した「にいがた電子図書館」の予約3,471件(2週間分)も含み、令和4年度の予約件数も増加が見込まれます。 ・新潟県独自の特別警報による臨時休館中や、まん延防等重点措置期間中も、レファレンスの受付を継続し、市民の資料要求や課題解決に努めました。全館としては目標に達しませんでした。</p>	<p>3 大変評価できる 73%</p> <p>2 ある程度評価する 18%</p> <p>1 評価できない 9%</p>	<p>・ウイルス禍の中でも創意工夫で市民へのサービス維持に努めたことを評価したい。 ・達成できなかったのが目標を下げるというだけであってはならない。 ・にいがた市電子図書館の予約件数が多くて驚きました。これからも発展していきそうですね。いまはまだ自分の足で行って探す楽しみを優先したいですが、そのうち私も利用しそうです。 ・「にいがた市電子図書館」の導入により、市民にとって利用し易くなったと思われます。これからも、精度を高めた案内を期待します。 ・なお、レファレンスの受付を継続し、市民の問題解決に努めることを期待します。 ・予約件数目標達成は素晴らしいと思います。また今後も電子図書館の利用で予約件数が大幅に増えることを期待しています。 ・利用しやすいサービス、便利なサービスの導入は大いに嬉しいことである。継続をしていくために予算確保を望む。 ・コロナ禍で接触を避けようとするれば、予約システムは有効である。広く周知してせっかくの蔵書が多く読まれることを望む。それに対して本の準備、内容、紙の本、電子書籍、障がいのある方への対応等に取組んでほしい。</p>
イ 特色ある地域づくりのために地域資料を収集・活用します。	指標	実績	実績	目標	実績	目標	令和3年度 全館の取組結果	外部評価欄	
<p>施策① 地域資料(郷土資料・行政資料)の体系的な収集</p> <p>施策② 地域の課題解決に役立つ資料の活用</p>	<p>郷土・行政資料の蔵書冊数</p> <p>資料のテーマ展示回数</p>	<p>126,105冊</p> <p>751回</p>	<p>127,964冊</p> <p>661回</p>	<p>129,000冊</p> <p>680回</p>	<p>130,393冊</p> <p>765回</p>	<p>131,000冊</p> <p>770回</p>	<p>・地域資料の情報収集をすることで、地域資料を積極的に受入しました。 ・臨時交付金を活用し、各区の中心館図書館ではコロナ禍の暮らしや様々な課題解決に役立つテーマの展示を行いました。</p>	<p>3 大変評価できる 64%</p> <p>2 ある程度評価する 36%</p> <p>1 評価できない 0%</p>	<p>・これらの収集は、公立の図書館の重要な役割。さらに力を入れて、事例を具体的に明らかにして市民にも紹介し、新たな課題を求め解決し、図書館という組織として役立つ姿を見せてほしい。 ・コロナ禍の中で役立つテーマ展示を具体的に聞いて、色々工夫されていると思いました。 ・歴史・文化を伝えていくためにも、地域資料の情報収集に努め、資料の受け入れに力を入れていただきたいです。 ・臨時交付金を活用しての、市民に役立つ展示は良かったです。 ・今後もご時世に合った展示内容や、地域資料とトレンドを合わせて展示をして欲しいです。より多くの方に興味を持ってもらうような情報発信の方法を考えて欲しいです。 ・臨時交付金の有効活用を期待する。 ・予算の確保、有効活用とこれからも工夫して欲しい。</p>
ウ 子どもの読書活動を推進します。	指標	実績	実績	目標	実績	目標	令和3年度 全館の取組結果	外部評価欄	
<p>施策① 子どもの読書環境の整備</p> <p>施策② 学校、保育園・幼稚園・こども園、公民館などとの連携と支援</p>	<p>児童書の貸出冊数(個人・団体)</p> <p>子どもの読書推進に関わる職員派遣</p>	<p>1,160,205冊</p> <p>167人</p>	<p>957,839冊</p> <p>77人</p>	<p>985,000冊</p> <p>80人</p>	<p>1,071,306冊</p> <p>88人</p>	<p>1,072,000冊</p> <p>90人</p>	<p>・ブックスタートや子ども・親子を対象にした様々な事業を感染症対策に留意して実施しました。 ・職員派遣は新型コロナウイルス流行の影響もありましたが、図書館全館としては令和2年度を上回る依頼を受けることができました。</p>	<p>3 大変評価できる 82%</p> <p>2 ある程度評価する 18%</p> <p>1 評価できない 0%</p>	<p>・学校もできることを連携しながら読書活動を推進したいです。 ・ネット、SNSの時代だからこそ子どもの読書体験の重要性が高まっていると思う。 ・市民にとって図書館が必要不可欠なものとして認められるにはどうあるべきか考えることが大切。子どもの読書量の増加などで示すのが一番効果的。 ・各館色々な趣向を凝らしていると思います。個人的には新潟図書館のぬいぐるみのお泊り会にとても興味がありました。いつかかつて子どもだった大人のぬいぐるみも是非お願いしてみたいです。 ・様々な事業を、感染症対策に留意して実施された努力がうかがわれました。 ・職員派遣の依頼が増加されたことで、園や関係施設でのニーズが戻ってきたことがわかりました。これからもPRに努めていかれることを望みます。 ・目標も達成しており、子ども達が多くの本を借りたことはとても良い結果だと思います。令和4年度もより多くの子どもが本に興味を持ってもらえるような取り組みを希望します。 ・感染対策、健康管理を十分に行い、職員派遣など活動を継続してほしい。 ・ステイホーム、コロナ対応の日々の中で改めて豊かな生活のための本の役割を感じる。職員の派遣依頼も読書活動、環境整備には大きな役割をもつ。声に応えていける活動を継続して欲しい。</p>
エ 市民参画と協働を推進します。	指標	実績	実績	目標	実績	目標	令和3年度 全館の取組結果	外部評価欄	
<p>施策① 利用者・市民による図書館運営への参画</p> <p>施策② ボランティアや教育機関・民間団体との連携協力</p>	<p>図書館協議会や利用者懇談会の開催</p> <p>ボランティア参加のべ人数</p>	<p>図書館協議会を各区で2回開催</p> <p>6,260人</p>	<p>図書館協議会を各区で2回開催</p> <p>2,374人</p>	<p>図書館協議会を各区で2回開催</p> <p>2,500人</p>	<p>図書館協議会を2区で2回開催</p> <p>3,179人</p>	<p>図書館協議会を各区で2回開催</p> <p>3,300人</p>	<p>・新型コロナウイルス流行の影響でボランティア活動や各種共催事業の実施が制限された期間もありましたが、感染症対策に留意して活動を再開し、令和2年度より多くの人数の参加がありました。 ・令和4年3月より「にいがた元気力アップサポーター制度」と「いきいき県民カレッジ」の2つのボランティア活動を応援する制度の参加希望者の受入れを開始しました。</p>	<p>3 大変評価できる 64%</p> <p>2 ある程度評価する 36%</p> <p>1 評価できない 0%</p>	<p>・さらに継続を。 ・ボランティアの方は、図書館活性化の一つの鍵である。もともと参加してもらうには、館側のどんな工夫や改善が必要か根本から考えてみる必要がある。 ・「にいがた元気力アップサポーター制度」「いきいき県民カレッジ」について、質問すればよかったです。私共の読み聞かせグループでは、興味のある人はいましたが、加入した人はいなかったようです。年齢に関係なくもっと気軽に皆が入って楽しい特典があるといいと思いますが、他の方が沢山加入しているならそれで良いと思います。 ・2つのボランティア活動を応援する制度の参加希望者の受入れを、開始されたことで、各機関とのつながりもでき、ボランティアの広がりを感じました。 ・昨年よりも多くのボランティア参加者があり、よい結果が出ていると感じました。今度、2つのボランティア活動を応援する制度でよい結果が出ることを期待します。 ・感染対策、健康管理を十分に行い、職員派遣など活動を継続してほしい。 ・目標を上回る実績であった。それだけ参加したいと考える人々があるということとコロナ禍であっても有効に活用していきたい。</p>